しせいかい

Shiseikai

春の号
vol.101
2022.4

日本医療機能評価機構認定病院
機能種別版評価項目 3rdG：Ver.2.0

ハイビスカスとモンシロチョウ

Contents

●～認知症治療病棟開設から1年経って…～
●作業療法便り
●精神科救急急性期医療病棟での取り組み
当法人にて【地域移行支援・地域定着支援】【自立生活援助】のサービスがスタートしました！
●介護老人保健施設 陽光館
●三角お屋根のガーデンクレスをご紹介!!
●この春のありんくりん

～認知症治療病棟開設から１年経って…～

青い空・青い海と夏を感じる季節となりました。
認知症治療病棟の開設から１年余りが過ぎ、振り返るとコロナ禍で多くの制限の中、思うようにいかずご心配とご不便をおかけしましたが、患者様やご家族の皆様には、ご理解をいただいたことを心より感謝いたします。
１年を振り返りながら、病棟での取り組みについて紹介したいと思います。

高齢社会の今、2025年には65歳以上の高齢者の５人に１人が認知症になると言われています。認知症は、物忘れ・これまでできていたことができなくなるなどの能力の低下が見られる状態をいいます。その中でも入院治療が必要な方は、認知症に伴う行動・心理症状（不眠・暴言・暴力・歩き回りなど）が出現し、ご自宅や施設での生活が難しくなった方です。
お薬での治療が必要な患者様へは薬物療法を行い、リハビリテーションでは、生活機能訓練や回想法（昔懐かしい音楽聞いたり、映画を見たり、昔の経験や思い出に触れる）を取り入れ、今ある機能が維持できるよう退院後の生活を見据えながら、多職種チーム（医師・看護師・作業療法士・ケースワーカー・栄養士など）で日々取り組んでいます。

～看護を通して感じる事～

認知症になっても「自分らしさ」は変わらないことです。
体を動かすことが好きな方、歌を歌うことが好きな方、他の患者様を心配する方、自分のペースが大切な方、一人ひとりの「その人らしさ」があります。私たちは、患者様のこれまでの人生を想像し、できるだけ患者様のその人らしさを尊重して関わる努力をし、これからも患者様やご家族が安心できる治療・看護を目指してスタッフ一同力を合わせて取り組んでいきたいと思います。

～相談課での取り組み・感じる事～

患者様に寄り添える支援を意識し、主に退院支援に取り組んできました。また、患者様、ご家族に助けられた１年でもありました。開設当初よりコロナ禍で、面会制限や退院に向けての関わりが充分に行えない状況にも関わらず、ご家族より温かい言葉をいただいたり、退院に向けての協力を快く受けてもらいました。感謝・感謝の日々でした。

感染対策のため多くの制限の中、スタッフで退院後の入所施設へ見学に行ったり、患者様の様子をリモートで面談したりと、これまでとは違った退院調整を行ってきました。患者様がご家族へ会えない中、退院当日に再会しお互いに喜びあっている姿を拝見すると胸が熱くなり、今後も両者の想いを大切にしながら支援していきたいと思います。

パターゴルフにチャレンジ

先日、幅１００ｃｍ×奥行３００ｃｍのパターマット購入しました。レクリエーションとして大好評なので、今日はその紹介をしたいと思います。

「３ｍ先の小さな穴めがけて、ボールを打って入れる」
単純なルールですが、人間の脳の力を最大限に用いる競技です。まず、カップの位置を目で見て確認し、距離感を全身で感じます。どれくらいの力で打ち出せばよいか脳内処理し、筋肉系へ伝達、グリップからパターへと出力されます。そして、ボールに当たった、物理的エネルギーがコロコロと軌跡として現れ、見事カップインしたら「入ったー！」とても良い気持ちになります。

認知症高齢者においても「うーん。やらんよー。」とプレー拒否されていても、いざパターを握ると、さっきの拒否はどこへやら、自然と前のめりに集中し絶妙なパッティングをします。

良いプレーの裏には、「安定した立位姿勢をとること」、「目で見て距離感を確認すること」、「力加減を微調整」するなどの能力を駆使する必要があります。集中力を最大限に高め、プレーを楽しむことは認知症進行予防に効果的だと考えています。

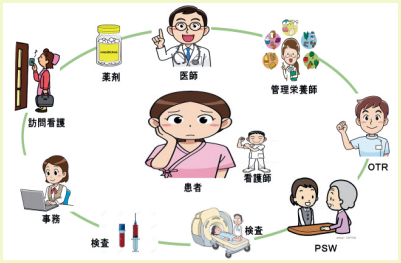
コロナ禍、感染症対策のため出来ないことも増えましたが、１日に１回は集中して、スカッと！！気持ちの良い瞬間を届けたい。そんなレクレーションを提供できたらと思います。

精神科救急急性期医療病棟での取り組み

精神科救急急性期医療病棟は急性期の治療を行う病棟として県内に五カ所に設置されています。

主な病棟の特徴として、入院から３ヶ月以内に６割の患者様の退院が基準として設けられています。当病棟では、早期のリハビリに力を入れており、その取り組の一つとして入院時より「退院準備セミナー」を実施しております。

主な内容は「自分の病気の特徴を知る」「内服治療の重要性を知る」「自分にあった日常生活の過ごし方を考える」を週１回３週に分け、患者様を中心に参画型セミナー方式にて医師、看護師、作業療法士、公認心理師が一つのチームとなり実施しています。



医師による内服の説明

多職種ミーティングを実施

R3.11.1より

当法人にて【地域移行支援・地域定着支援】・【自立生活援助】のサービスがスタートしました！

どちらも「相談支援事業所しせいかい」の相談支援専門員にて対応し、医療と福祉の架け橋、そして利用者一人一人が安心して希望する生活を実現できるようサポートしていきます！

「相談支援事業所しせいかい」サービス内容

１ 計画相談とは

障がい福祉サービスの利用申請に必要なサービス等利用計画を作成したり、サービスの利用にまつわる相談に対応したり、関係機関との連絡調整などを行います。

２ 地域移行支援・地域定着支援とは

「地域移行支援」とは、精神科病院や障がい者支援施設などを出て地域で暮らすための支援を「地域移行支援」といいます。長い間、病院や施設などで暮らしていた人が地域で暮らすために、新しい家を一緒に探したり（住居確保）、外出に同行したり、関係機関との調整を行うなど、地域移行のための相談・支援を行います。

「地域定着支援」とは、地域でひとり暮らしなどをしている障がい者と常時の連絡体制を確保し、緊急時の相談・支援を行います。

３ 自立生活援助とは

グループホームなど施設を利用していた人が、ひとり暮らしを始めたときに、生活や健康面などに問題がないか定期的な巡回訪問や随時の対応により、障がい者の理解力、生活力などを補うために支援を行います。

「精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの構築を推進できるよう、より良いサービス提供との連携が図れるよう努めていきます。

介護老人保健施設 陽光館

当館は介護保険により「強化型」を取得し在宅復帰、在宅支援機能が高いと認められた老健です。

リハビリテーション課 紹介

リハビリに注力する施設 機能訓練が充実

理学療法士(PT)6名、作業療法士(OT)2名、言語聴覚士(ST)1名が在籍しており入所及び通所を担当しリハビリに取り組んでいます。

訓練室でなく 生活スペースがリハビリ場所

「リハビリ=リハビリスタッフが提供するものに留まらず、「生活と直結したリハビリ」へ繋がるよう踏みこんだリハビリを提供しています!

理学療法士

◎理学療法士とは…

運動機能回復・維持の専門職です。
運動療法や物理療法(電気や温熱療法など)を行いながら個人の自立した生活を支援します。

◎どんな仕事をしているの?

目指すのは、在宅復帰を最終目標に、立つ・歩く・座る・寝返るなど基本となる動作のリハビリを行います。

◎理学療法士からの一言

残された機能を最大限に引き出すリハビリ!
利用者の「できること」「その人らしさ」を尊重し、自宅復帰への不安ができるだけ少ないように心身面のサポートを行います!

敷地内の屋外歩行練習最高!

硬くなった部位のﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ場面

作業療法士

◎作業療法士とは…

食事・トイレ・着替え・家事など日常で必要不可欠な動作能力、社会に参加する能力の回復を支援する専門職です。手芸・工作・その他作業を通して支援を提供しています。

◎どんな仕事をしているの?

介護施設で作業療法士の提供するサービスは・・・
「体と心のリハビリ」
「日常生活」を取り戻すための仕事!

・日常生活動作のリハビリ
・手先の細かい作業のリハビリ
・認知機能に対するリハビリ など

完成した作品!!

◎作業療法士からの一言

リハビリで作成した季節の作品などを生活棟や玄関ロビーへ展示することで、活動への楽しみや生きがいづくりに繋がることを願っています。

集中して作品を作っています

手先の細かい作業場面!!

言語聴覚士

◎言語聴覚士とは…

ことばによるコミュニケーションや食べることに問題がある方を支援する専門職です。

◎どんな仕事をしているの?

脳卒中後の失語症、聴覚障害、ことばの発達遅れ、声や発音障害など検査・評価・訓練を行います。

◎言語聴覚士から一言

老健では、食べることに問題のある方が多く、肺炎(誤嚥性)を発症してしまいます。発症を少しでも減らし、無理なく食べることができるよう支援していきたいと思っています。

言語訓練の場面

1月から入職しました

実際の食事場面
(食べる能力評価を行います)

三角お屋根のガーデンクレスをご紹介!!

入口の扉を開けると種類豊富なパンたちがお出迎え

店内で取り扱っている商品は就労訓練工場スターベーカリの商品です。
働いているメンバーさんが心を込め丁寧に作り上げた美味しいパンです。
菓子パンや惣菜パンなどその数は20種類以上。

ガーデンクレス人気ベスト3

1位 ブラックココアメロンパン
（インパクトある黒、少し苦みのあるココア味大人から子供まで大人気!）

2位 田芋パン
（なめらかなタームクリームは甘くてうまい!）

3位 メロンパン
（シンプルながらもやみつきになるカリカリふわふわ!）

ラスク 私のおすすめ！

**カリッと揚がった耳パンに砂糖がまぶされ絶妙に旨い。
一口食べたら止まらない！**

毎日は置いてない為、入口にラスクの文字が目印。
※忙しい朝やおやつなどにパンはいかがですか！

又、沖縄そばを店内で味わうことが出来ます!!
製麺工場が隣接している事もあり、麺には自信がありこだわりの麺とスープ、それに付いてくるネギ・二味唐辛子・コーレーグースまで自家製で提供しています。（購入も可能・スタッフへお声かけ下さい）
メニューは沖縄そば・三枚肉そば・軟骨ソーキそば・クレスそば（三枚肉＆ソーキ・デザート付き）とあります。

**※お昼に沖縄そばをおすすめします。
どうぞご賞味下さい。**

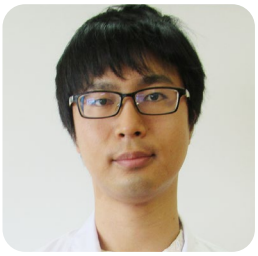
ガーデンクレス

営業時間／11:00～15:00
（パンが売り切れ次第で閉店）
定休日／木・日・祝日
TEL／098-974-9000

【店内感染予防の為、手指消毒・マスク着用のご協力をお願い致します。】

この春のありんくりん

新任医師紹介



専攻医 下門裕弥先生

琉球大学病院より来ました、下門裕弥と申します。“しもじょう”ではなく“しもかど”と読みます。父が本土に転勤になった際、読み方が変わったため読み方が変わっておりますが、ルーツは沖縄です。育ちも沖縄です。精神科に入って今年で２年目で、経験も知識もまだまだなひよっこです。いろんな方にご迷惑をおかけすると思いますが、全力でやってまいりますのでよろしくお願いいたします。

専攻医 吉田未生先生

大阪府のさわ病院という病院から2022年４月に平和病院に入職しました。沖縄で過ごすのは初めてですが、うるま市は自然豊かでのびのびと過ごせそうだなと感じています。道端に咲いている花も大阪と比べて色鮮やかで新鮮です。半年間、ここでしかできないことをたくさん経験したいと思っています。ご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

春の防火避難訓練を実施

春・秋の年２回、障害福祉サービス事業所の各施設では、避難訓練を実施しています。今回は夜間の火災を想定、初期消火や公衆電話から消防署へ連絡、避難経路を知る訓練を実践。また、一人一人消火器の使い方も体験しました。訓練の反省・感想では『火事だー』と大声を出し避難する事を皆で再確認しました。

あおば邸　節分・豆まき

令和4年2月8日　少し日程はずれてしまいましたが、節分豆まきを行いました。あおば邸にも赤鬼・青鬼が乱入してきたので「鬼は外～福は内～コロナは外～」と大きな声を出しながら、新聞紙を丸めた豆を鬼へめがけて思いっきり投げられ鬼退治をされていました。今年もあおば邸に福がきますように・・・・。

あおば邸では一年の行事を大事に考え、季節感が味わえるイベントを取り入れ楽しく生活が送れるようにしています。

設立理念

1. 当院は新しい精神医療を行うことを目的とする
2. 精神障害者及びその家族の立場に立ち可能な限り物心両面から援助を行う
3. 作業療法、レクリエーション等を再検討し真に社会復帰に結びつく療法を確立する
4. 地域精神医療を行う
5. 精神医学、精神医療の発展に結びつく研究を行う
6. 病院運営にあたっては一般企業並みの経営を行い医療は最新かつ高度なものとする

患者憲章

平和病院は、設立理念に則り、医療の中心は患者様のためにあることを深く認識し、一人ひとりの患者様に次のような権利と責務があることを宣言します。

- あなた様には尊厳とプライバシーの保護を受ける権利があります
- あなた様には最良な医療を平等に受ける権利があります
- あなた様には知る権利があります
- あなた様には自己決定する権利があります
- あなた様には責務があります

基本方針

当院は、自然環境を活かし、アメニティーの充実を図ると共にチーム医療における質の高い医療を追求する。また、医療・保健・福祉における連携および患者様の人権を尊重し、患者様並びに家族との相互理解を深め、地域のニーズにあった信頼される医療を提供する。

広報誌 しせいかい No.101 April 2022

精神科・心療内科

平和病院

病床数：212床（内 指定病床17床）

☐ 精神科救急急性期医療病棟（スーパー救急） ☐ 認知症治療病棟 ☐ 精神療養病棟 ☐ 精神科訪問看護 ☐ 精神科デイ・ケア

受付/午前8:30～11:00　午後1:00～3:00　木・日・祝祭日は休診

電話:098-973-2000　住所:うるま市字上江洲665番地

☐ 相談支援事業所しせいかい（指定特定相談支援事業）

介護老人保健施設

陽光館

入所定員：140床（認知症専門棟40床）

☐ 介護老人保健施設陽光館入所 ☐ 短期入所療養施設陽光館 ☐ デイケアセンター陽光館　電話：974-4000

☐ ホームヘルプサービスセンター陽光館 ☐ 居宅介護支援事業所陽光館　電話：974-8000

受付/午前8:30～12:00　午後1:00～5:00　木・日・祝祭日は休館

住所:うるま市字上江洲661番地

☐ 認知症グループホームあおば邸　電話：974-9770　住所：うるま市字上江洲708-1

☐ うるま市地域包括支援センター具志川ひがし　電話：974-4001　住所：うるま市上江洲779-2

医療法人社団志誠会

障がい福祉サービス事業所

☐ グループホームしせいかい（外部サービス利用型共同生活援助・短期入所）　電話：974-6000

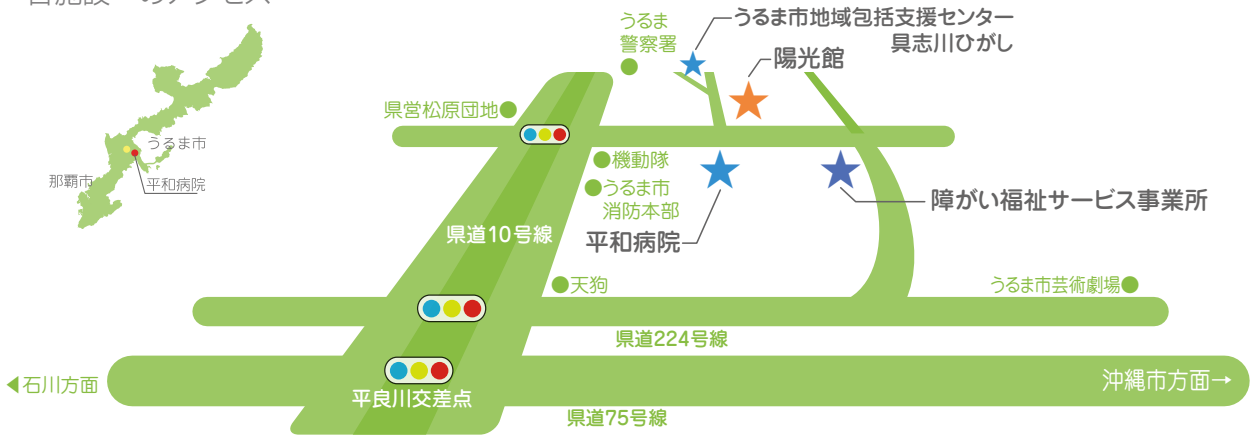
☐ 自立訓練事業所しせいかい（宿泊型自立訓練・生活訓練・短期入所）　電話：974-6100

☐ 就労訓練工場しせいかい（就労継続支援B型）　電話：973-0030

職員募集!!

志誠会では**「看護補助者・介護職（入浴介助のみ可）・ヘルパー非常勤・調理スタッフ・洗濯スタッフ・送迎スタッフ」**等の職員を募集しています。
その他職種も募集していますので、興味のある方はホームページをご覧ください。
098－973－9590（平和病院　総務課）

各施設へのアクセス



編集後記

4月に入り、新しい生活がスタートした方も多いのではないでしょうか。通勤時、小さい体でランドセルを背負い、キラキラした笑顔の新1年生を見かけると、私も初心を忘れず頑張ろう！と励みになっています。

さて、今号では認知症治療病棟開設から1年が過ぎどのような取り組みをしていたかを紹介していますので、ご一読下さい。

沖縄はこれから暑さが増してきます。今の内から水分補給を心掛け熱中症予防を行いましょう。

（外間　良美）

●ご意見・ご感想は右記までお寄せ下さい。ホームページアドレス　http://shiseikai-heiwa.com/

発行日：令和4年4月23日　発行所：〒904－2222 うるま市上江洲665番地
TEL098（973）2000 FAX098（974）5169
発行責任者：理事長 小渡敬
編　集：志誠会広報誌編集委員会